

名古屋大学医学部附属病院



病院長名	丸山 彰一
所在地	〒466-8560 愛知県名古屋市長和区鶴舞町 65 番地
交通案内	JR 中央線「鶴舞駅（名大病院口）」下車 徒歩 3 分 名古屋市営地下鉄「鶴舞駅」下車 徒歩 8 分

□ 病院の特徴

名古屋大学では従来より、卒前から卒後に至る一貫した臨床医学教育を実現するために、『総合医学教育センター』を設置するとともに、2008 年度からは、初期研修後の専門育成も支援するために、『卒後臨床研修・キャリア形成支援センター』として機能充実を図り、研修サポート体制の拡充を行った。これにより、名大研修の特徴である関連病院と密接に連携した質の高い臨床教育をより円滑に推進できるようになった。すなわち、2 年間の初期研修のみならず、後期・専門研修のキャリアパス整備とキャリア形成の積極的支援など、後期研修や専門研修においても、病院として責任を持った体制が確立したと言える。各種教育ツールを一括管理してシミュレーションによるトレーニングを進めるとともに、OJT (On the Job Training) を重視して臨床手技の習得が速やかに行われるように力を注いでいる。

□ 研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】

名古屋大学医学部皮膚科研修プログラム

【研修目標】

皮膚科医として信頼され、安全で標準的な医療を国民に提供できる十分な知識と技術の獲得を目標とする。

【研修期間】

5 年

【研修スケジュール】

本プログラムは名古屋大学医学部皮膚科を基幹施設とする研修プログラムである。専攻医は基幹施設である名古屋大学医学部附属病院皮膚科にて最低 1 年の研修を行い、残る研修期間を連携研修施設にて行う。本プログラムは複数の研修コースを設定している（詳細は以下を参照 https://www.dermatol.or.jp/uploads/uploads/files/spProgram/program_058.pdf）。



▲手術室現場



▲外来の様子

□ 主な連携施設

稲沢市民病院、協立総合病院、県立多治見病院、陶生病院、小牧市民病院、中京病院、豊田厚生病院、名古屋済済会病院、名鉄病院、東濃厚生病院、日赤愛知医療センター名古屋第一病院、常滑市民病院、安城更生病院、一宮市立市民病院、名古屋医療センター、豊橋市民病院、トヨタ記念病院

□ メッセージ

指導医（教授 秋山真志）

私たちは臨床、教育、研究という 3 つの要素にバランスよく取り組み、教室員の先生方に気持ちよく、十二分に実力を発揮していただける教室作りを目指したいと考えております。臨床においては地域で最高レベルの医療を患者さんに提供できる診療体制づくりを目指して、患者さんの多い一般的な疾患をしっかり治療することから、比較的稀な疾患に対する高度先進医療まで、幅広くカバー



できるよう教室員一同、一生懸命努力いたしております。教育については、患者さんの痛みのわかる良医の育成を目指し、さらには、大学や連携施設の皮膚科で指導者として活躍する人材を育てることも重要な使命と考えております。研究面では、真に臨床に役立つ研究、患者さんの利益に結びつく研究を行いたいと思います。実際の診療に結びつく研究テーマがこれからの皮膚科学に求められている課題であり、若い先生方の研究に対するモチベーションの高揚につながると思います。これから皮膚科学を本格的に学ぼうという若い先生に対しては、無理せず、かつ、遠回りせず、一人前の皮膚科医になれる環境を提供することを第一に考えています。若い先生方はそれぞれの夢と希望を持っていると思います。ある先生は世界的な皮膚科の研究者になりたいと思っているでしょうし、また、ある先生は、仕事と温かい家庭を両立させたいと考えているでしょう。みんなの夢の実現が、名大皮膚科の発展につながると信じています。

□ 募集要項

・採用予定人数	18 人
・給与/月額	月額約 20 万円に加え、該当する場合に手当（通勤手当、超過勤務手当、夜勤手当、特殊勤務手当（夜間診療業務手当等））を支給
・当直回数/月	約 3~4 回/月
・当直料/回	20,000 円/回
・その他	平日日勤帯の外勤等（週 1 日まで）可
・応募連絡先	担当者 棚橋 華奈 電話番号 052-744-2314 Eメール tanahashi@med.nagoya-u.ac.jp